



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

## 問題【国語】

次の日本語は、視覚に障がいがある方を困惑させる表現があります。困惑させないような言い方に直しましょう。

そちらの手すりをお使いください。

## 豆知識 雑学コラム

### どのように伝えるか

いよいよ、4日から北京冬季パラリンピックがスタートします。障がいを乗り越え、スポーツをしている姿は、私たちに勇気を与えてくれるんですね。目が見えない、耳が聞こえないといった障がい

はなかなか計り知ることができません。今回は、そうした苦労について日本語の側面から考えてみましょう。

今回の問題の言い方、「そちらの手すりをお使いください。」は一見すると丁寧な言い方で問題ないように思えます。では、近くに手

具体的にすればいいだけと思っ  
たかもしれませんが、実際はかなり難しいです。例えば、食べ物がたくさんある食卓の様子を説明するとき「2時の方向に漬物が…」と言われてすぐにどこに漬物があるか把握できますか？ 視覚障がいのある方は、目に頼れないため、位置を表す日本語の表現を豊富に知っていて使いこなしています。

## 【解答】

「そちらの手すりをお使いください。」

段どのような思いをしているのか

よように思えます。では、近くに手

すりがある場所で目をつぶって、「そちらの手すりをお使いください。」と言われた場面を疑似体験してみましよう。そうするとどうでしょう。手すりが右にあるのか、左にあるのか、すぐ近くにあるのかなど、手すりの位置が全然わからないですよ。

「ここの手すりが右側にあるのか、左側にあるのか、すぐ近くにあるのかなど、手すりの位置が全然わからないですよ。」

「ここの手すりが右側にあるのか、左側にあるのか、すぐ近くにあるのかなど、手すりの位置が全然わからないですよ。」